



---

**株式会社ウェッジホールディングス**

**事業説明会**

**2017年9月2日**



## 此下 竜矢

- \* **Group Lease PCL**  
Chairman of Executive Committee
- \* **株式会社ウェッジホールディングス**  
代表取締役社長 兼 CEO
- \* **昭和ホールディングス株式会社**  
代表取締役CEO

---

# 決算内容

---

2017年9月期 第3四半期



---

# 総括

---

## 増収減益

- Digital Finance事業拡大継続
  - 過去最高益11四半期連続更新
- 先行投資的費用の投下
  - Digital Finance事業・コンテンツ事業  
双方での先行投資的費用の投下
  - 事業拡大を目的とした資金調達に伴う利  
払い費用増加
- 為替差損

# 連結経営成績 (P/L)

(単位：千円)

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	対前年同期比
売上高	6,967,527	7,632,820	109.55%
営業利益	2,470,772	2,864,910	115.95%
経常利益	2,350,159	2,346,558	99.85%
四半期純利益	441,559	432,843	98.03%

※3四半期累計

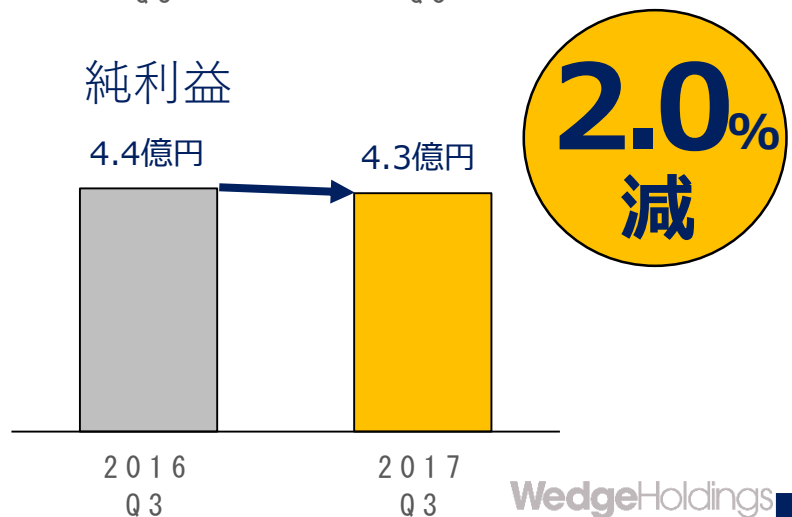
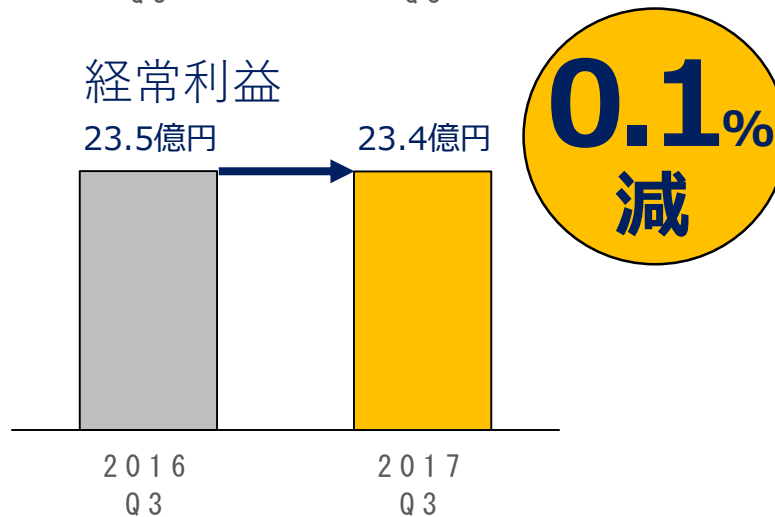
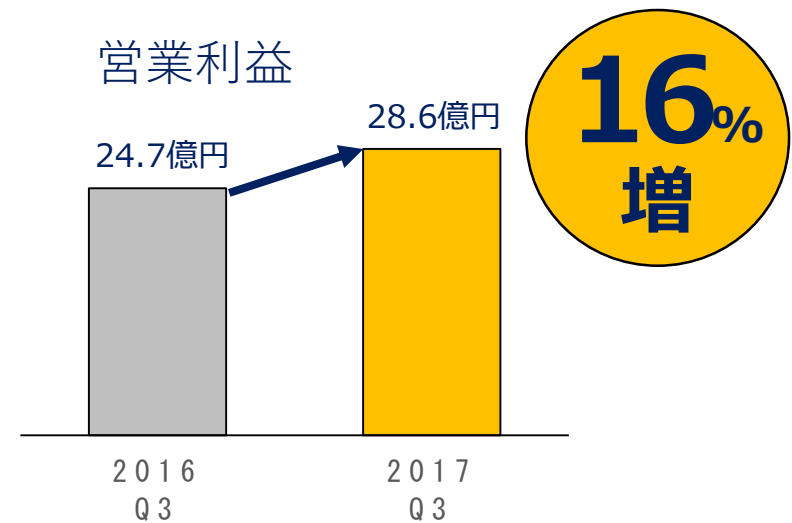
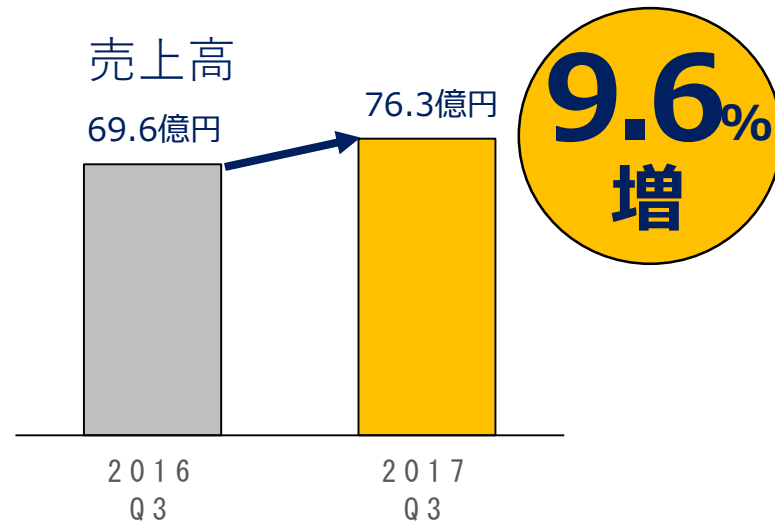
# 連結財務状況 (B/S)

(単位：千円)

連結貸借対照表	2016年9月期 第3四半期	2017年9月期 第3四半期	対前年同期比
流動資産	38,410,086	48,107,955	125.25%
固定資産	4,022,012	15,369,479	382.13%
(内)投資その他の資産	2,444,333	12,708,903	519.93%
資産合計	42,432,099	63,477,434	149.60%
流動負債	8,313,787	5,750,536	69.17%
固定負債	8,175,344	28,051,232	343.12%
負債合計	16,489,132	33,801,768	204.99%
株主資本合計	11,417,496	12,169,809	106.59%
純資産合計	25,942,967	29,675,666	114.39%

流動比率	462.0%	836.6%
固定比率	35.2%	126.3%
株主資本比率	26.9%	19.2%
D/Eレシオ	0.889倍	2.642倍

## 対前年事業成績



## 減益要因（当四半期発生ベース）

- ① 事業拡大を目的とした資金調達に伴う利払い費用増加(-193百万円)
- ② 為替差損 (-140百万円)
- ③ 先行投資的費用の増加  
(Digital Finance -172百万円、  
コンテンツ -13百万円)



---

# 新たな取り組み

---

---

# Digital Finance 事業

---

---

# INDONESIA

---

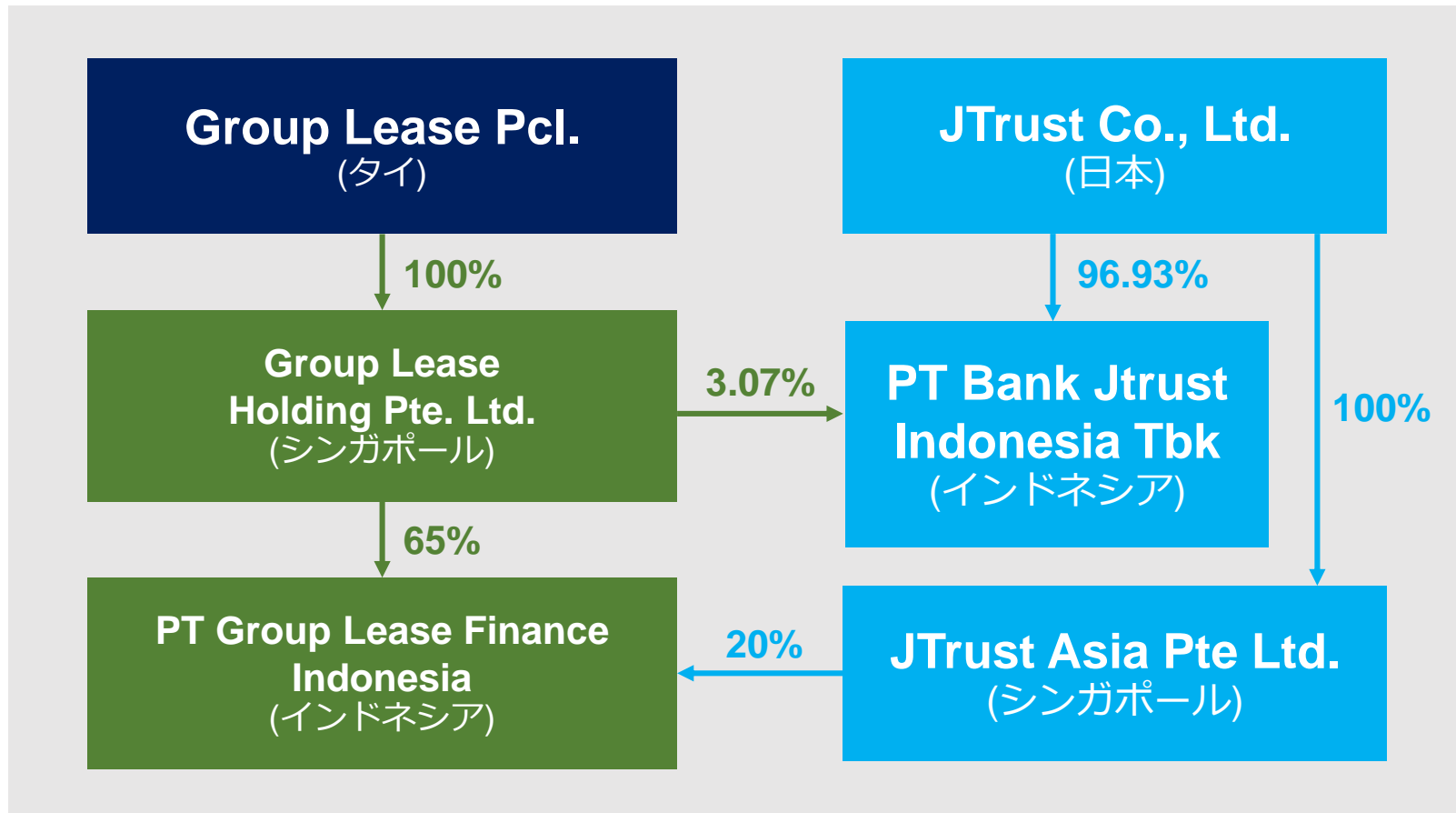
**July, 2016**

# インドネシア市場

- 人口: **2億 58百万人**
- 非都市部に住む人口の割合: **46%**
- 非都市部に住む人口: **1億 19百万人**
- GDP: **9,323億米ドル**
- 一人あたりGDP : **3,570米ドル**

\* 2016年時点

# GLグループ 資本関係図 (インドネシア)



# 事業及び商品 (インドネシア)

## インドネシア

クボタ農機具ファイナンス  
July, 2016~

グループローンファイナンス  
Mar, 2017~

ホンダオートバイファイナンス  
Apr, 2017~

TATAカーファイナンス  
Aug, 2017~

# クボタ農機具ファイナンス

July, 2016～



# グループローンファイナンス

Mar,2017～





# ホンダオートバイファイナンス

Apr,2017～

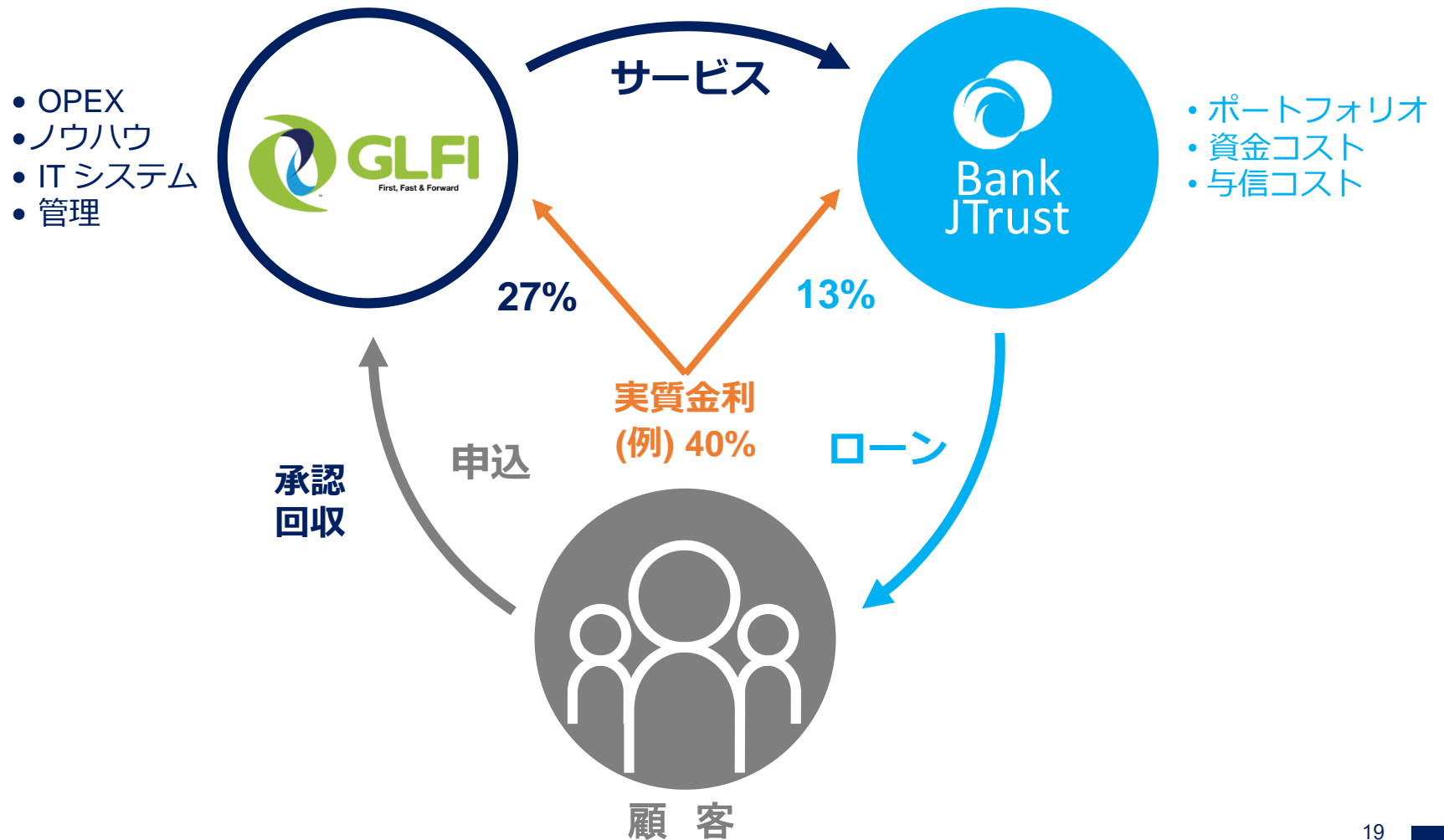


# TATA カーファイナンス

Aug,2017~



# インドネシア ビジネスモデル



# GLFI 現在のPOS



**27**

クボタ

**15**

オートバイ

**6**

BMI

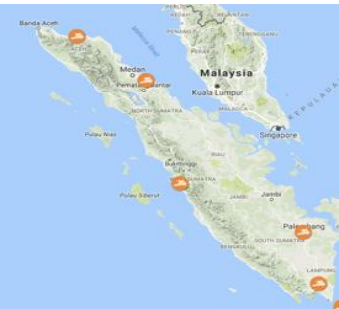
**6**

TATA

**54** POS

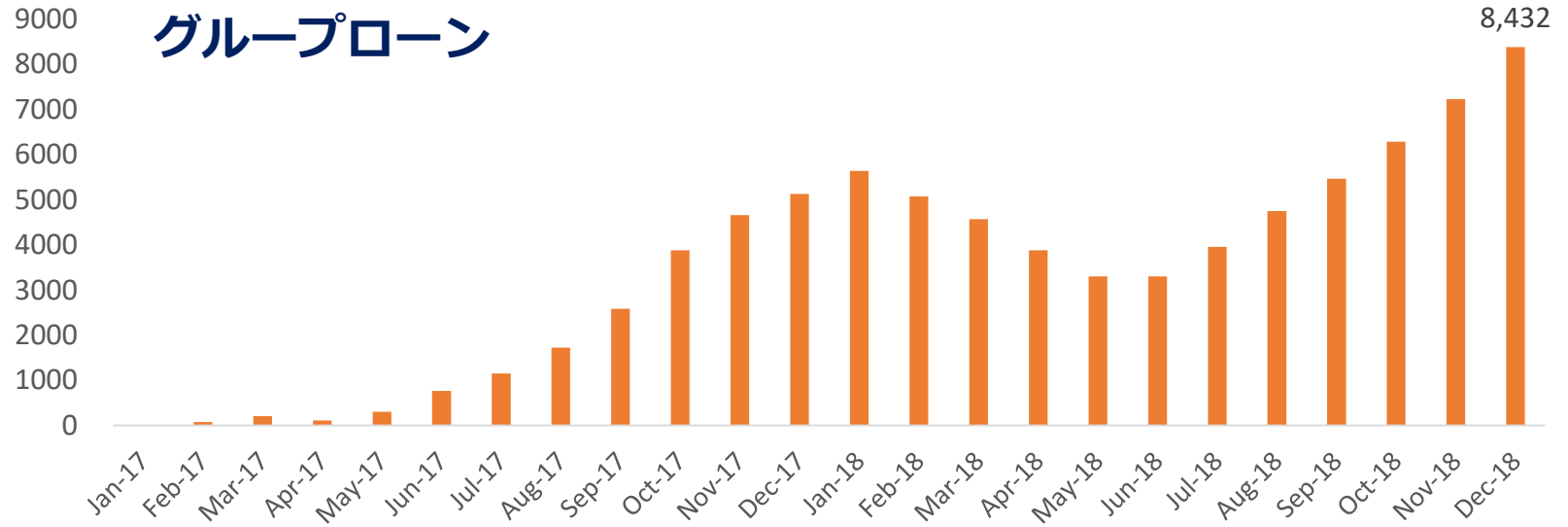
# インドネシア マイクロファイナンス市場

170  
万人以上

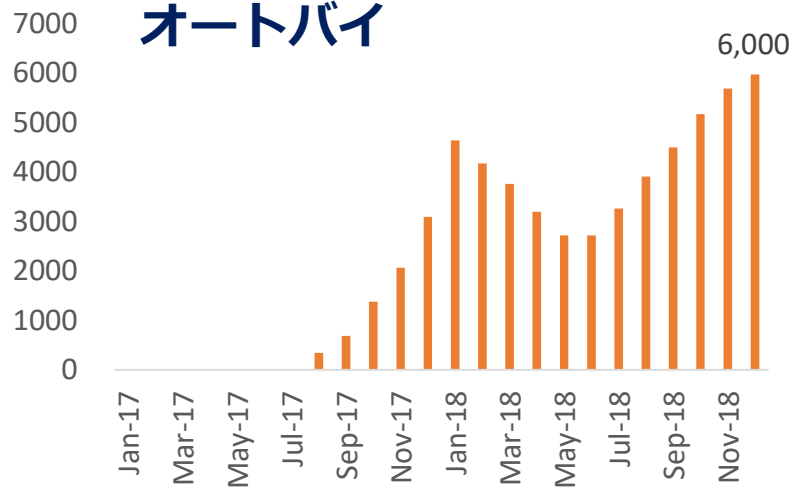


# GLFI 商品別契約件数

## グループローン



## オートバイ



## 農機具



---

# MYANMAR

---

**March, 2017**

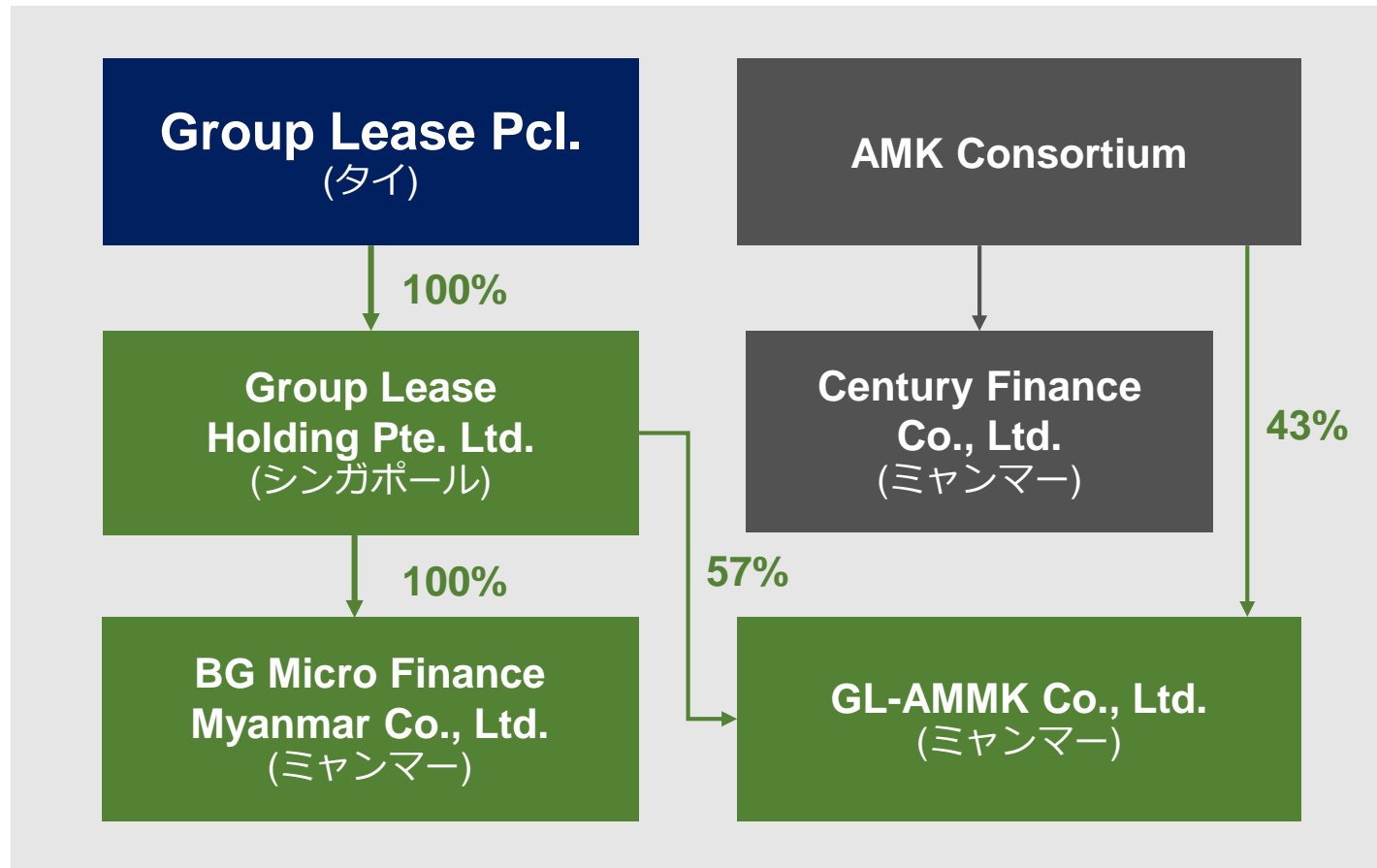
# ミャンマー市場

- 人口: **5,689万人**
- 非都市部に住む人口の割合: **70%**
- 非都市部に住む人口: **3,982万人**
- GDP: **約683億米ドル (IMF推計)**
- 一人あたりGDP : **1,307米ドル (IMF推計)**

\* 2016年時点



# GLグループ 資本関係図 (ミャンマー)



# 事業及び商品 (ミャンマー)

## ミャンマー

グループローンファイナンス

Sep,2014~

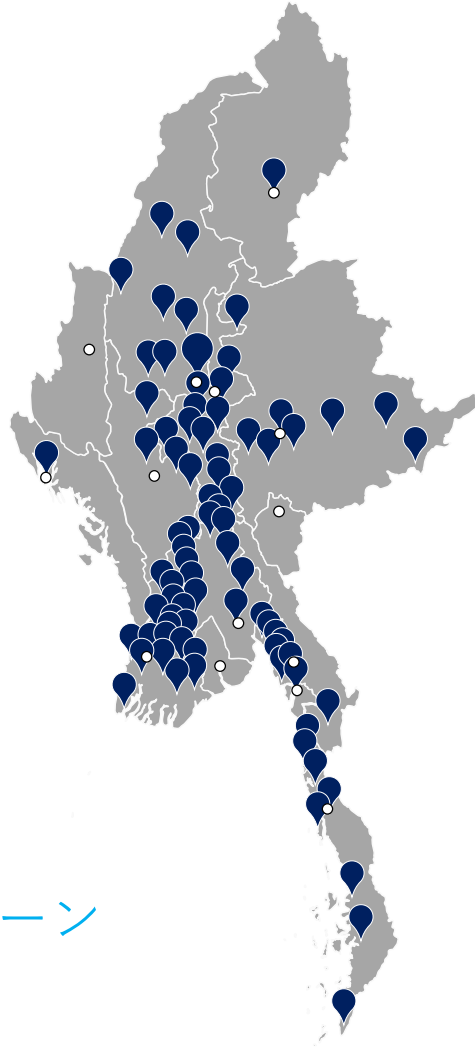
ホンダオートバイファイナンス

Mar,2017~

SME ローンファイナンス

Aug,2017~

# ミャンマー 現在全体のPOS



92

オートバイ

15

グループローン

# グループローンファイナンス

Sep, 2014～



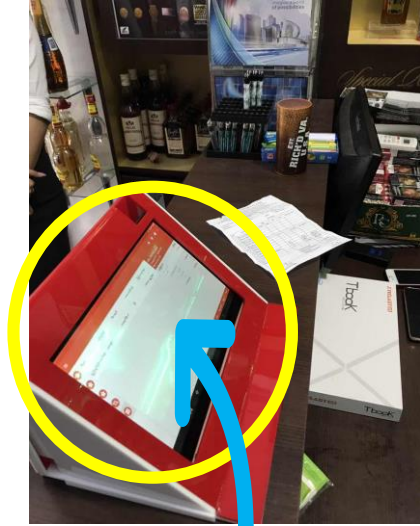
# ホンダオートバイファイナンス

Mar,2017～



# SMEローンファイナンス

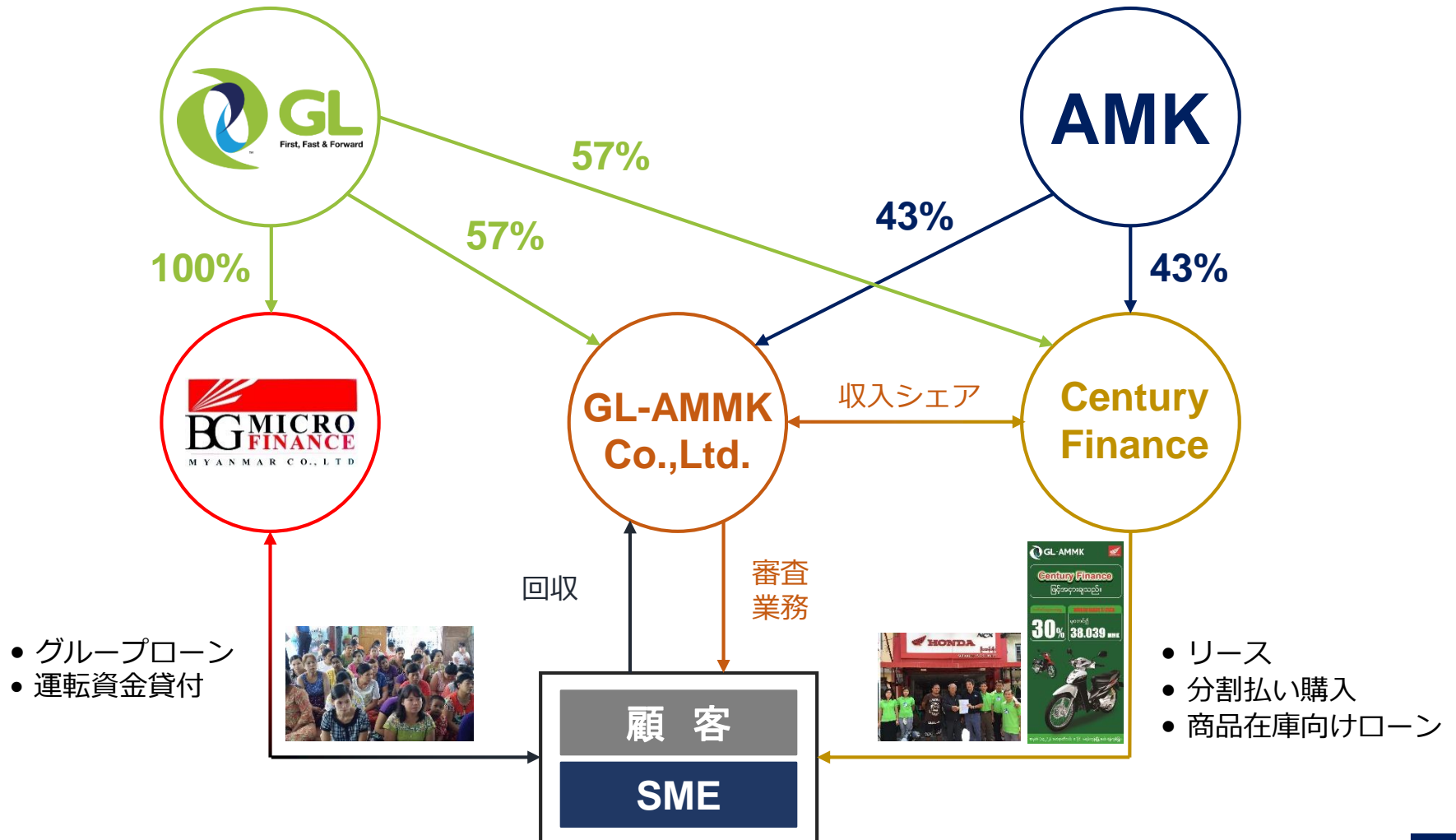
Aug,2017~



**iBAGAN**  
**INNOVATION**  
Technology

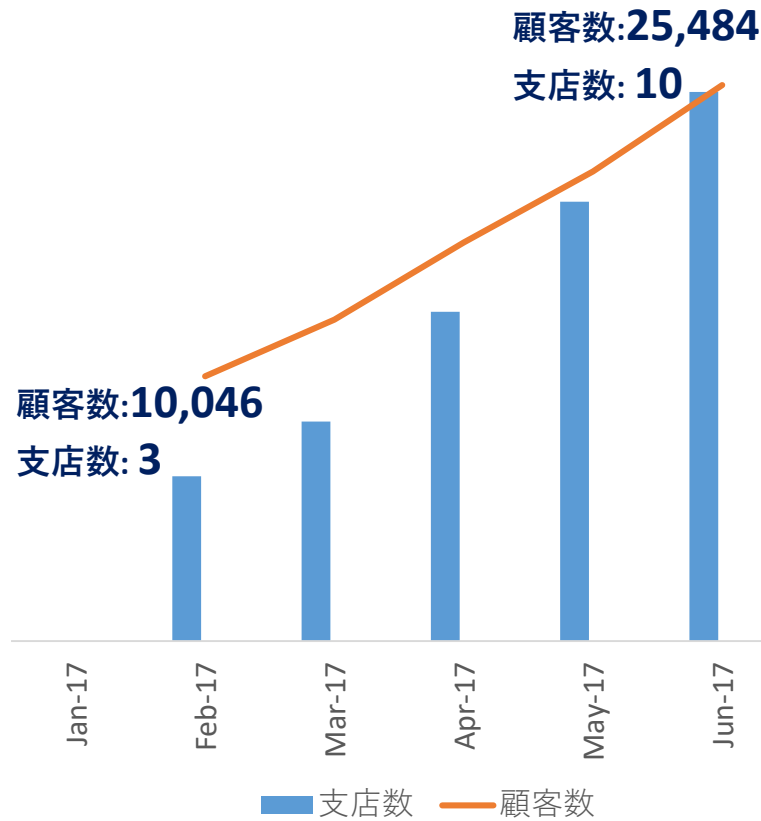


# ミャンマー ビジネスモデル



# BGMMの成長

2管区  
(Feb-17)



8管区  
(Jun-17)

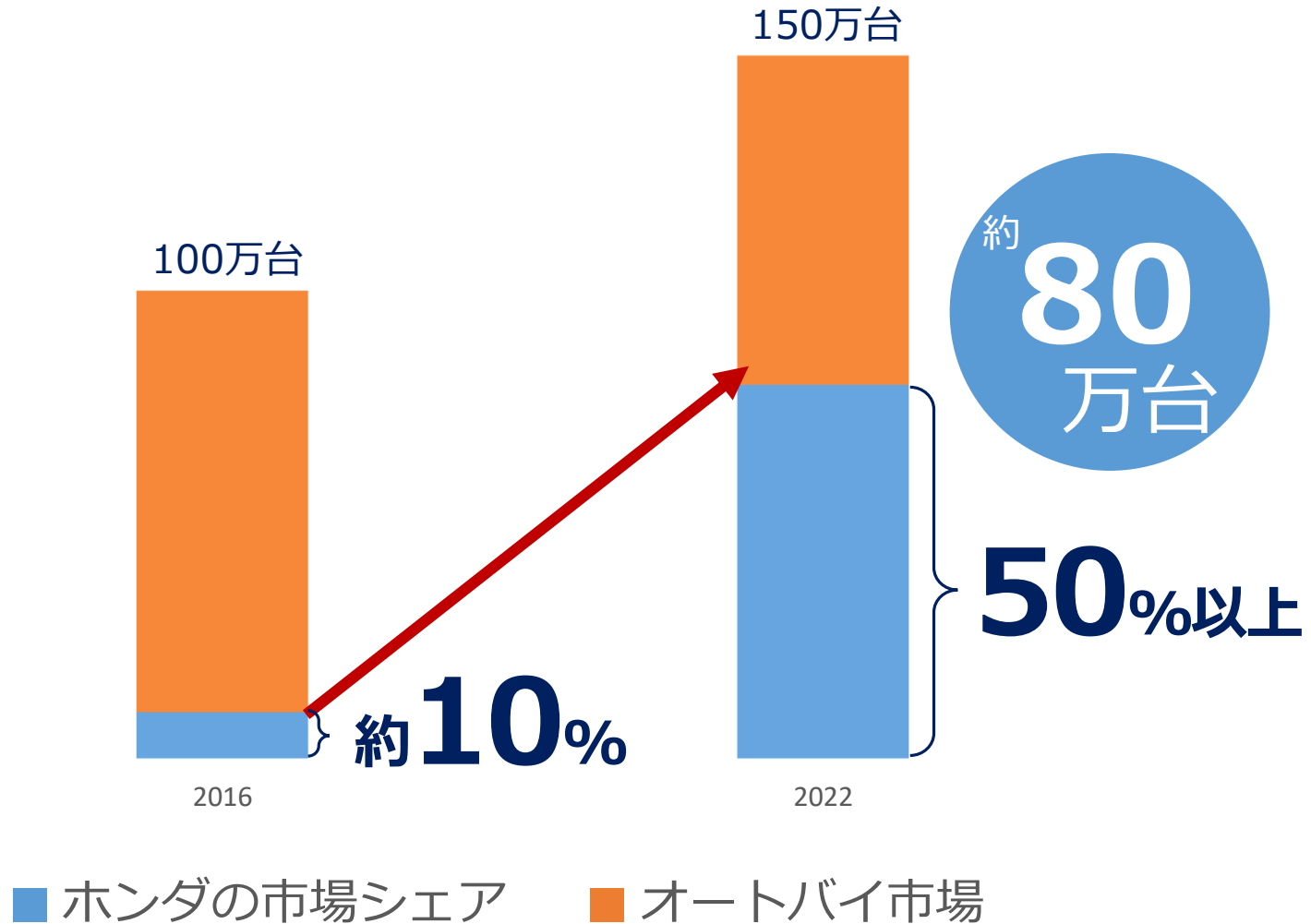




# オートバイ市場の成長

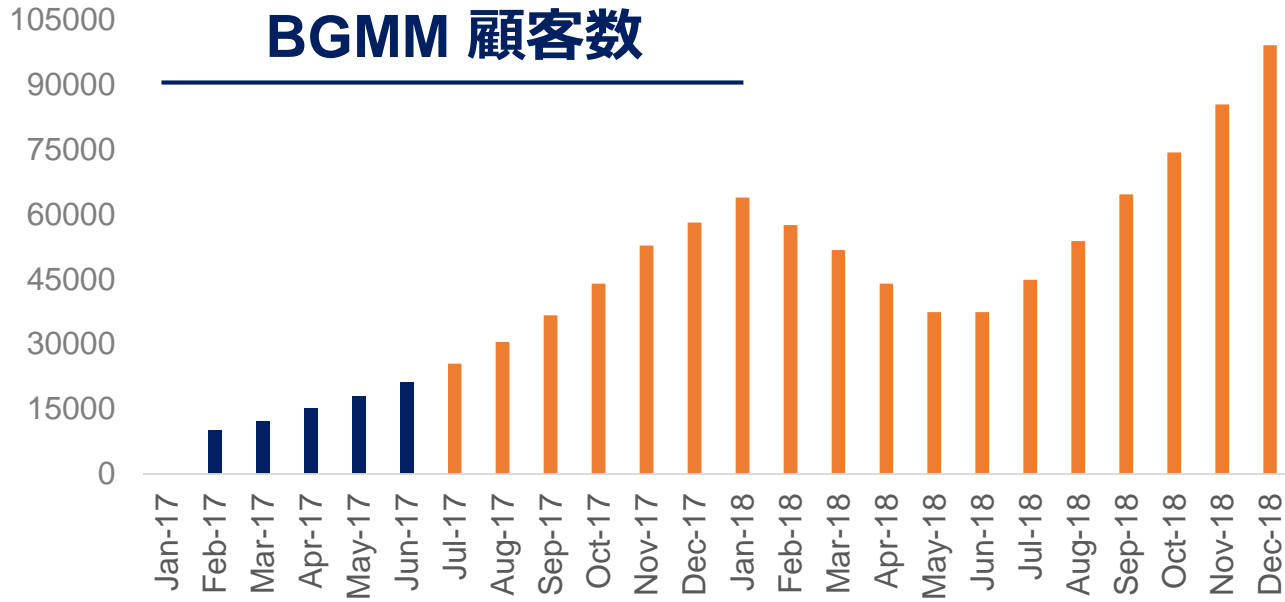
- ミャンマーにはホンダのディーラーが100以上あるが、我々は今年度中にその全てのディーラーにPOSを設置予定です。2017年3月末では16POSでしたが、6月末には57POSに拡大しております。
- 現在のミャンマーのオートバイ市場規模は、年間販売台数約1,000,000台と推定され、そのほとんどが、中国からの安価オートバイにより占められています。
- ホンダは2013年にミャンマー市場に参入し、現在の市場シェアは約10%です。
- アセアン地域において、ホンダは優れた品質とサポートにより市場リーダーとなっており、今後ミャンマーにおいても同じようにホンダが支持されると考えます。
- 今後5～7年の間にミャンマーのオートバイ市場は、年間販売台数1,500,000台まで拡大し、ホンダの市場シェアはその半分のおよそ800,000台にまで広がっていくと見込んでいます。
- ミャンマーにおいてオートバイファイナンスはまだまだ新しい分野であり、今後タイのように一般的に利用されていきます。それに伴い、ファイナンスの契約数は今後大きく拡大していくと考えております。

# オートバイ市場の成長



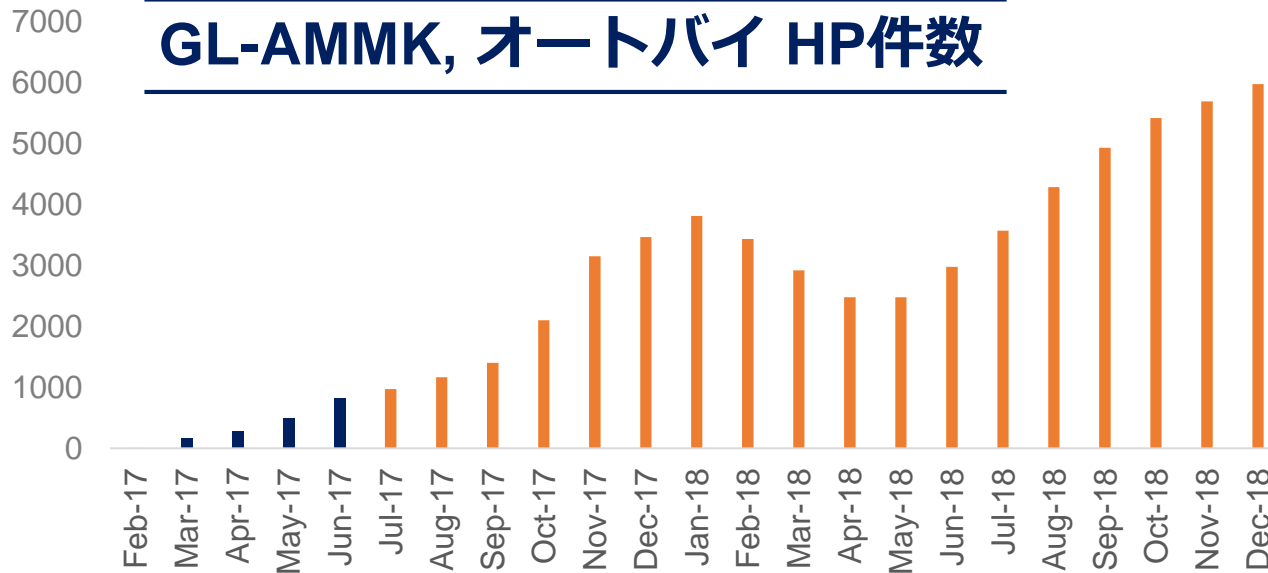
\*当社推計

## BGMM 顧客数



約  
**100,000**  
顧客  
2018年末

## GL-AMMK, オートバイ HP件数



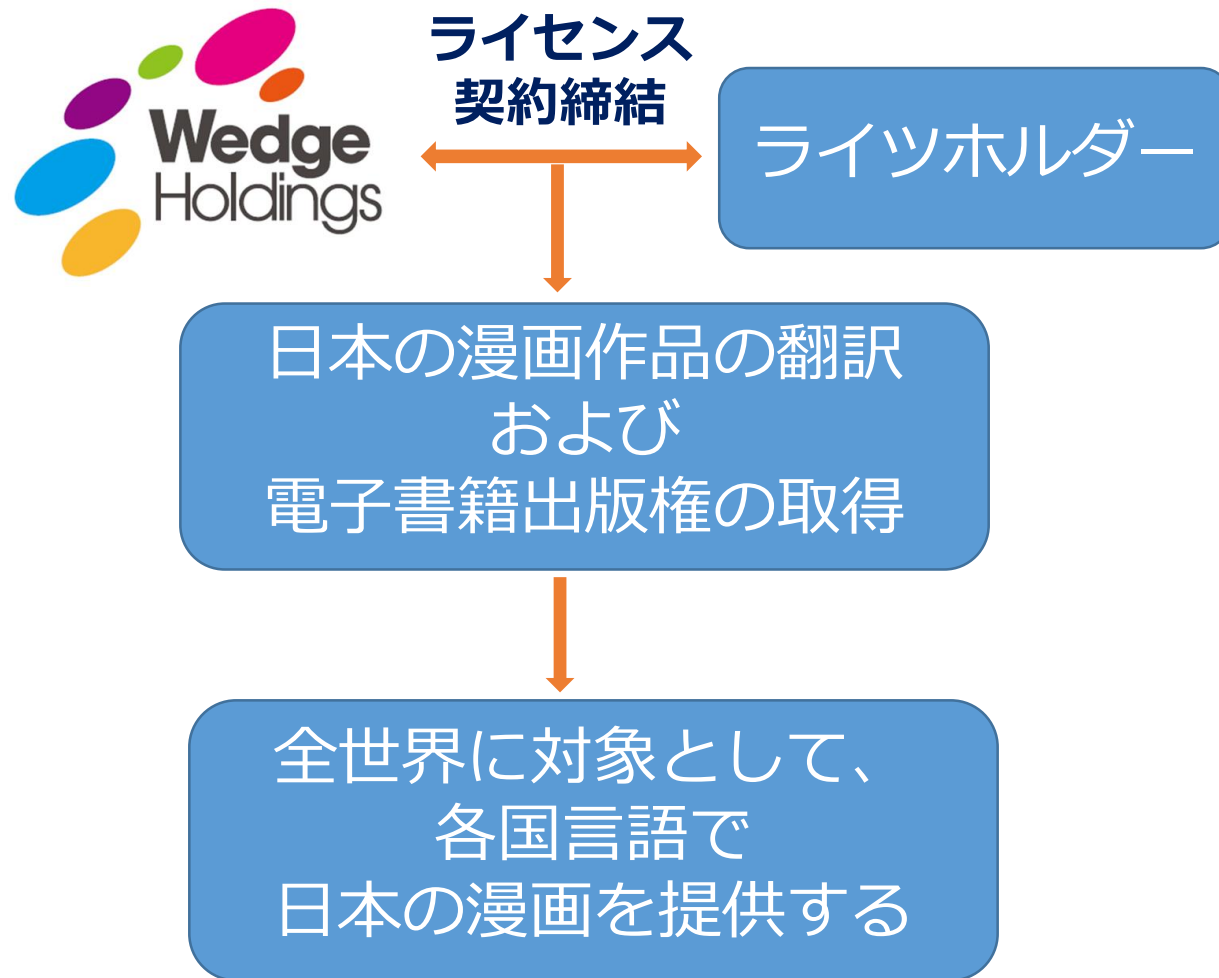
約  
**6,000**  
/月  
2018年末

---

# コンテンツ事業

---

# コンテンツ 新たな取り組み



# ライセンス契約締結会社



ライセンス  
契約締結

(株)手塚プロダクション

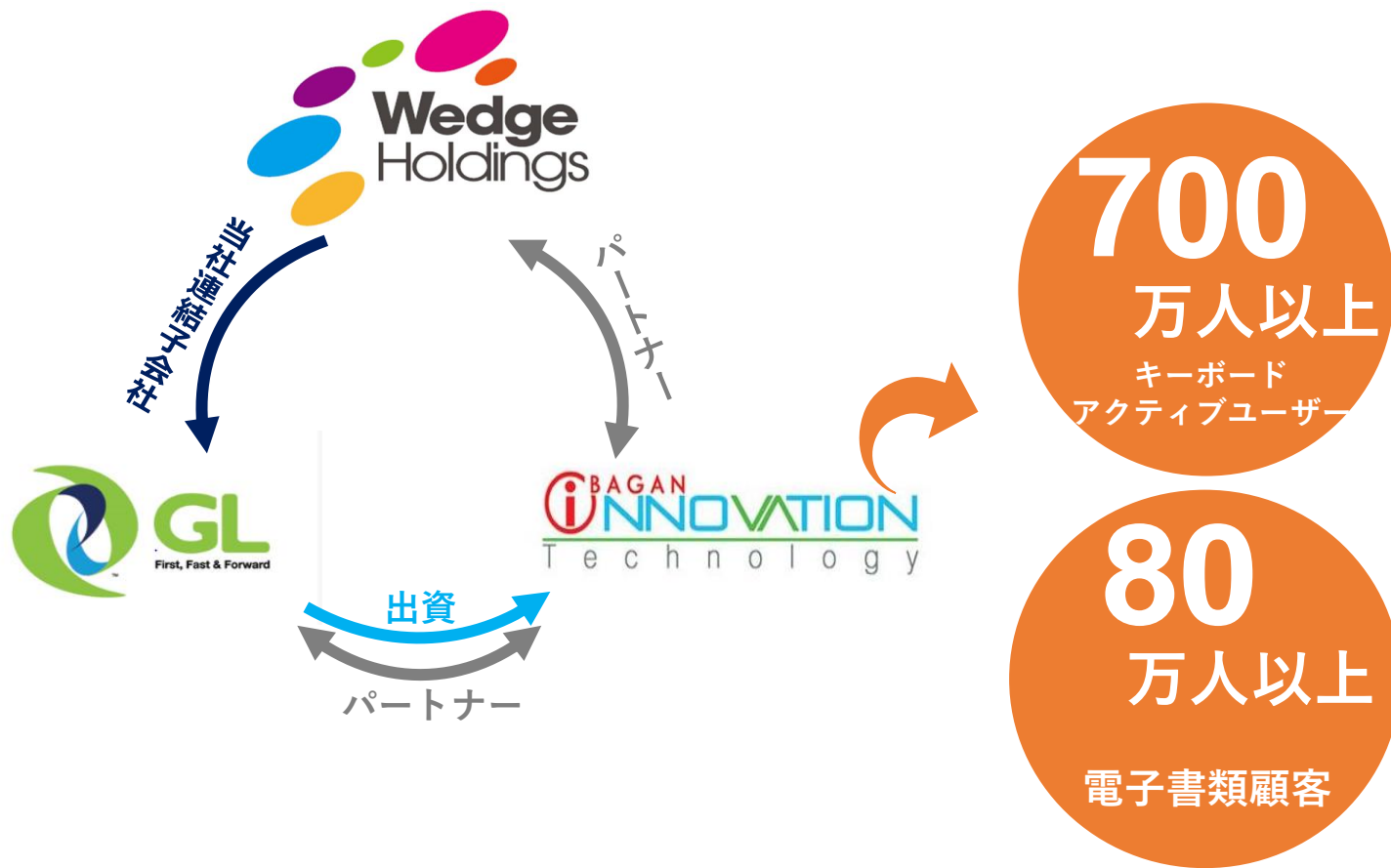
手塚治虫作品(約700)

(株)フリーハンド

「博徒黙示録カイジ」をはじめとした全てのタイトル作品(約1,000)

- ビルマ語翻訳
- 電子書籍出版

# ミャンマーの業務資本提携 パートナー



---

## 今後の予定

---

第一弾：

- **ビルマ語**で本年9月30日に  
「週刊：手塚治虫マガジン」創刊号の出版予定

今 後：

- 新たに取得した1,000タイトルの電子書籍出版予定
- インドネシア語、ベトナム語、タイ語、モンゴル語  
ほか、 **全アジア言語への翻訳展開**



# THANK YOU

